

第4号様式（第10条関係）

会 議 録（要 旨）

会 議 名	第12回武蔵村山市観光施策検討協議会
開 催 日 時	平成24年1月17日（火）午後2時00分から午後4時00分まで
開 催 場 所	市民会館 研修室
出 席 者 及 び 欠 席 者	出席者：溝尾良隆、高橋茂明、高橋敏彦、古屋勤、高橋昭、嶋田一成、乙幡章吾、 小林充子、乙幡弘、鳴川和広、近藤健右 欠席者：江村信彦、佐保満和、柳澤有三、乙幡清次、青柳真紀子、田村崇寛 事務局：市民生活部長、地域振興課長、地域振興課観光グループ主査、同グループ主事、農政グループ主任 委託業者：日本コンサルタントグループ（川本、南澤）
議 題	(1) 武蔵村山市観光施策検討協議会報告書（案）について (2) その他
結 論 (決定した方針、残された問題点、保留事項等を記載する。)	(1) 武蔵村山市観光施策検討協議会報告書（案）について 修正意見に基づき、修正し再提示する。 (2) その他 次回検討協議会の日程は、2月21日（火）午後3時からとする。
審 議 経 過 (主な意見を原則として発言順に記載し、同一内容は一つにまとめる。)  ○ 委員 ● 事務局	(1) 武蔵村山市観光施策検討協議会報告書（案）について ※ 冒頭、会長より前回討議結果についての確認。 ※ また、議題に入る前に、「交通量調査」及び「歴史民俗資料館の整備検討状況」について、委託業者より報告。 ※ 武蔵村山市観光施策検討協議会報告書（案）の検討に当たり、事務局（委託業者）より報告書の構成及び内容等について説明。 ○ 資料が多く添付され、全体的に分かりづらい。例えば32ページや71ページなどは箇条書きで記載してみてもどうか。 ○ 140ページの文章とその内容に対応する153ページの資料（図）は離れていて関係が掴みにくい。また、141ページの上から3、4行目は、回りくどい。 ○ 3ページは、主語が不明である。 ○ 5ページの下部分の表は今回の検討協議会の一番のテーマであり、ポイントを入れてもらいたい。 ○ この報告書を市長に提出するのであれば、市長は武蔵村山市の人間であり、分かっている内容は外してもよいのではないか。 ● 市長以外の多くの方も見ることになり、その様な内容も必要である。 ○ 参考資料は巻末の資料編にまとめてもらいたい。資料は厚くなっても構わない。 ○ 161ページ以降の道の駅の需要予測は、計算上このような結果になることは理解できるが、施設の産品等の品揃え等、利益を確保するのに必要な前提条件があるのではないか。利益が簡単に出ると思われるのはよくない。 ○ 一般的な道の駅は、ここでは無理ではないか。 ● 色々な検討を踏まえ、道の駅ができるかどうかを市長が判断することになる。 ○ 道の駅の需要予測は出さない方がよいのではないか。 ○ JAは供給できるのか。農産物主体であれば、どの程度売れるのかも検討する必要がある。 ○ 群馬県の新治村（現みなかみ町）の道の駅は、沼田市や昭和村から供給を受けている。 ○ かたくりの湯を中心とした施設に農産物の直売所を設置することによって、成果ができれば農家も積極的になるのではないか。 ○ 今日かたくりの湯を見てきたが、駐車場にも余裕があり、テント数張の設置から始めるのはどうか。

